

木々の緑から陽光が降り注ぐ 美しい季節に！

小さな小さな銀杏の葉がいつの間にか緑
濃き立派な葉に生長しておりました。
先日霞ヶ関に行き、良いお話を伺って参
りました。



知のお裾分け

にほんブログ村

木更津市立請西小学校

第1学年便り

No.19

平成21.5.19

演題「もう一度考えたい ことばの力」山根基世先生（元 NHK アナウンサー）

ことばの大切さとは何か！

日々どうということばを選んで相手に与えているのでしょうか。
子どもたちとよりよい関係を築けるような良いことばを選
んで与えてください。

「ありがとう」

「ごめんなさい」のことばを然るべきタイミングで、

然るべき心で言えるような子に…。

子どもって思い通りに育たないことが多いと思います。

①日々、心から「ごめんなさい」とあやまれる姿をとれる
ようにすること。（口先だけではいけません。）

②誰かに何かしてもらったら、心から感謝できること。【感謝力】

子どもを育てるのは親、大人です。人的環境が子どものその後の生き方に通じてくると
思います。

哲学者カントは「努力によって得られる習慣は善である。」

串田孫一氏は「日々の行いを選び、積み重ねることが人生の行方を定めることだ。」と…。

（私は「日常が勝負」と同じではないかとほくそ笑んでしまいました。）

今、自分の感情をセーブできない。周囲の人々との関わりができないという若者が増えて
います。（コミュニケーション能力の欠如）

子どもが周囲とよい関係作りができるような、生きる力としてのことばの力をつけるこ
とが大切だと思うのです。

「今を自分の目で見、自分の頭で考え自分のことばで発言していく。」誰かの言葉でなく、
聞きかじりでなく、自分自身の体験から得た『自分のことば』を育てていくことが大切で
あり、発言できるようにしなければ何一つ変わらないと思うのです。

人の心を幸せにできることばを話せる子を育てる。 そのためには、大人の
話しことばがどうであるかということなのです。自分と相手（子ども）は鏡と考えましょ
う。ことばは凶器にもなるし、おいしい栄養にもなります。

肩書きや財産はなくなるものです。自分に自信のない人は過去にすがります。「〇大
学を出た。」等よく耳にしませんか？今の自分の生き方を、よりよくするための努力が足
りないと不安になるので、過去にすがります。

人間存在の支え、根っこにあるものは、「ことば」それはその人自身の生き方そのもの
と言えます。



山根さんのことばの中に、『出会った人々の「ことば」によって育
ててもらっている。』

『口は心にあふれるものを語る』

『ことばは心の栄養剤』がありました。

私の心にすーっとしみ入り、私もよいこ
とばを発せられるよう頑張ろうという気
持ちにさせていただきました。

嬉しいこと

☆お芋名人をお見送りに行った後、給食のワゴンを運んできて下さったセンターの方に嬉
しい報告を受けました。

「先生、子どもたちが『いつもありがとうございます。』と言ってくれたんですよ。」と
にこにこにっこり。担任がいなくても、きちんとお礼が言えたこと。これこそ感謝力！教
室に帰り、大いにほめました。ありがとう子どもたち！！

保護者の方より！

☆交通安全教室の始めの会、1年生皆が想像以上にきちんと座ってビデオやお話を聞けて
いたのでびっくりしました。楽しむ時は思い切り楽しむ。聞くときはきちんと聞くという
けじめができてきたようで嬉しかったです。

